

JIS と ISO の基準について

JIS は日本の工業規格、ISO は国際標準化機構で策定した国際規格です。

新しい『安全図記号』は、ISO 3864-3:2012* に基づいてデザインし、“JIS S 0101:2000 消費者用警告図記号”にも準拠しています。また、図記号の「わかりやすさ（理解度）」や「見やすさ（視認性）」は“JIS S 0102:2000 消費者用警告図記号－試験の手順”という安全図記号の評価基準にそって、消費者を対象とした調査を実施し、表示内容の妥当性を検証することでわかりやすく、より適切な注意表示に繋がるものとしています。

* ISO 3864-3:2012 Graphical symbols – Safety colours and safety signs – Part 3: Design principles for graphical symbols for use in safety signs

安全図記号について詳しくはこちらをご覧ください。

(『安全図記号』は「製品安全図記号」を省略した言葉です。)

◎一般の洗剤類について http://www.jsda.org/w/01_katud/anzenzukigou.html

◎酸性や塩素系の洗剤・漂白剤について http://www.senzozai.jp/0a_anzenzukigou.html

日本石鹼洗剤工業会

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-11
TEL (03)3271-4301 FAX (03)3281-1870
URL : <http://www.jsda.org/>

日本石鹼洗剤工業会は 1950 年に設立された、石鹼や洗剤などのメーカーと、それらの原料となる油脂製品のメーカーなどで構成される業界団体です。業界の健全な発展と消費者の生活向上に寄与する活動を行なっています。

洗剤・漂白剤等安全対策協議会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町
2-6-8 大湯ビル 3F 日本家庭用洗剤工業会 内
TEL (03)5651-8221 FAX (03)5651-8220
URL : <http://www.senzozai.jp/>

洗剤・漂白剤等安全対策協議会は 1988 年に設立された、酸性や塩素系の洗剤・漂白剤に関連する業界団体の協議会です。消費者安全の確保のために結成されました。

新しくなります 『安全図記号』



洗剤類を正しく安全に使っていただくために
より適切でわかりやすく



日本石鹼洗剤工業会

『安全図記号』ってなに？

新しい『安全図記号』は、洗剤類などの製品を使用するうえで大切な注意事項や使用方法に関する情報を、わかりやすく伝えるための図記号で、製品に表示されます。

禁止を示す図記号と、指示を表す図記号があります。



なぜ新しくなったの？

これまで石けん・洗剤・洗浄剤などの製品では、製品の種類や社会の変化に合わせて、表示のルールを改訂してきました。このたび、製品をより正しく安全に使っていただくため、表示内容が誰にでもわかりやすく伝わるように、絵表示を使った『安全図記号』を開発しました。

石けん・洗剤・洗浄剤に加え、漂白剤などの分野で、従来の図記号を『安全図記号』に統一し、2018年1月以降、製品に順次適用していきます。

※新しい『安全図記号』は、日本石鹼洗剤工業会が、塩素系漂白剤などの業界で構成する洗浄剤・漂白剤等安全対策協議会と協力し、国際規格のISO及び国内工業規格のJISに基づいて開発しました。

どこにあるの？

『安全図記号』は、必要に応じ、製品に表示されます。表示箇所は製品によって異なりますが、見やすい位置に表示されます。

また、製品には正しく安全に使用していただくための注意事項や使用方法が書かれています。必ず使用前に確認するようにしましょう。



安全図記号の種類と意味

↓やってはいけません〔禁止〕



子供の手が届くところに置かない

子供は周囲のものをなんでも手に取り、口に入れてしまうことがあります。また、手に取った際に目に入ったり皮膚についたりすると、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。子供の手の届かないところに保管してください。



目に入れない

使用方法や取り扱い方により、誤って製品が目に入ってしまうと、重大な事故を引き起こす可能性があります。製品が目に入らないように注意して使用してください。



飲み物ではない

飲み物や食べ物と間違えて飲食してしまうと、食道や胃の粘膜を傷つけたり、気管に入って窒息したりする可能性があります。飲み物や食べ物と違う場所に保管するなどの注意が必要です。



他の容器に移し替えない

異なる容器に入れたため誤使用を引き起こしたり、容器が腐食したりして事故を引き起こしたり、緊急時に必要な情報がわからないなどの不都合を招くことがあります。指定外の容器に移し替えないでください。



同時に使用しない

塩素系の漂白剤・洗浄剤と酸性タイプの洗浄剤が混ざると、有毒な塩素ガスが発生し、とても危険です。これらの製品は同時に使用しないでください。

↓必ずこうしてください〔指示〕



保護手袋を使用する

使用する場合には、保護手袋で手を保護してください。ゴム製など洗剤類のしみこまない炊事用手袋をお勧めします。



保護手袋・マスクを使用する

使用する場合には、必ずマスクと保護手袋の両方を着用してください。



使用後は手を水で洗う

使用後は、手を水で洗い、洗浄剤等が手に残らないようにしてください。



目に入った場合は、水で十分に洗い流す

誤って目に入った場合は、すぐに水で十分洗い流してください。その後、直ちに医師の診断を受けることをお勧めします。



必ず換気する

使用中は換気してください。換気しないと気分が悪くなる場合があります。



※専用スプレーを使用する

スプレー製品の付け替え製品を使用する場合は、必ずその製品専用のハンドスプレー（トリガー）を使用してください。異なる製品のハンドスプレーを使用すると、使用中に製品が飛び散ったり、漏れたりすることがあります。

図記号の説明は日本石鹼洗剤工業会の自主基準に基づいています。
※は洗浄剤・漂白剤等安全対策協議会の自主基準に記載の記号です。